

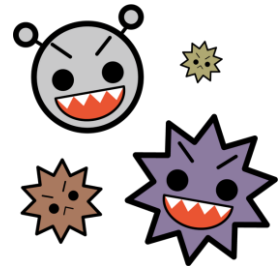


2018.11.01  
No.23

えんしゅうびょういん 情報紙

【担当:臨床検査科】

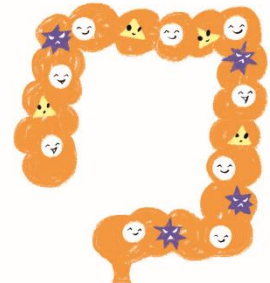
## \* 細菌のお話 \*



### 「微生物といえば怖いもの」は誤解!?

人間の皮膚や口、消化管などには多くの細菌が繁殖しています。栄養の吸収を助けてくれたり、病原菌が進入しないように防波堤の役割をしたり増殖しないようにして人間の身体を守っています。

私たちは環境や身体の中にいる様々な種類の細菌とバランスを取りながら生活していますが、そのバランスが崩れると厄介な病気（感染症）を引き越してしまいますことも事実です。



### いろいろな微生物（菌）を紹介します

#### ○常在細菌（叢） ⇒ 一生を共にするパートナー

皮膚 1 cm<sup>2</sup>あたり  $10^3 \sim 10^6$  個、腸内には 100 種類 100 兆個もいます。多種多様な細菌がバランスよく集まり、叢（そう:群がり集まること）になることで病原菌などの増殖を防いでいるのです。

#### ○善玉菌 ⇒ 健康を支えてくれる

乳酸菌やビフィズス菌が代表的。腸の中で善玉菌が優勢なら栄養の吸収がよくなります。

#### ○悪玉菌 ⇒ 増えると身体に悪影響を及ぼします

ウエルシュ菌、大腸菌が代表的です。悪玉菌が優勢になると体内で腐敗物質が作られます。

## ○真菌 ⇒ カビの仲間たち

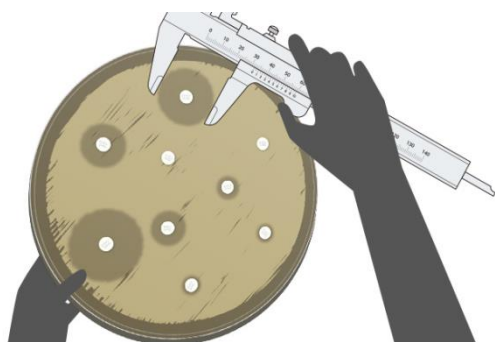
細菌より大きく原虫より小さいので通常肉眼では見えません。真菌の身近な感染症には「水虫」があります。病原菌にはカンジダ、アスペルギルス、クリプトコッカスなどがあります。真菌は免疫力が低下した人の原因になることが多いので、治療が長引くことが多くなります。



## 細菌を専門に検査する「細菌検査室」があります

細菌検査室では、主に次の2つのことを調べています。

- ①採取した検体に起炎菌（炎症を起こしている原因菌）がいるかどうか？
- ②起炎菌がいた場合、抗生物質が効くか効かないか？



薬剤を浸み込ませたディスクを用い、その周辺に菌が発育するかしないかを見て薬剤の効果を判定します。

そのためには、検体に含まれる菌を増殖させなければいけないことが必要となり、結果が出るまでに3日程かかります。

### 「言葉の説明」

- ディスクとは・・・種々の薬剤(抗生物質)を浸み込ませてあるチップ
- 菌が発育しない・・・浸み込ませた薬剤(抗生物質)が菌に効果がある証拠

\*取り上げて欲しい病気や検査、質問等がありましたら、投書箱やよろず相談窓口までお気軽に声をかけてください。企画の参考にさせていただきます。【監修:ふれあい編集部】